



グレーチングには、表面・裏面がありますので必ず表面にて、グレーチングを敷いて下さい。  
(表面:クロスバーが、上面に)

○ 適正

× 不適

●受枠の水平施工  
受枠の施工はガタツキ等の原因になりますので、必ず水平を保つように施工してください。

○ 適正

× 不適

× 不適

●勾配のある躯体  
グレーチングが躯体勾配に合うように受枠施工してください。

○ 適正

× 不適

× 不適

●受枠の継目施工

○ 適正

× 不適

○ 適正

平面

× 不適

平面

○ 適正

側面

× 不適

側面

●U字溝グレーチング使用時の側溝施工注意点  
グレーチングの躯体とスキマを5mm程度としてください。  
躯体の面取りは、グレーチングの破損・ガタツキ等の原因になりますので、行わないでください。

○ 適正

× 不適